



2013年3月期 決算短信補足資料

2013年5月15日

日本水産株式会社

2013年3月期
連結損益計算書(前年比)



(単位:億円)

	2013年3月期 実績	売上高比	2012年3月期 実績	売上高比	増減	増減率
売上高	5,668		5,380		288	5.4%
売上総利益	1,202	21.2%	1,197	22.3%	4	0.4%
販売費・一般管理費	1,144		1,101		42	
営業利益	58	1.0%	95	1.8%	▲37	▲39.2%
営業外収益	45		40		4	
営業外費用	48		51		▲2	
経常利益	54	1.0%	84	1.6%	▲29	▲35.2%
特別利益	20		6		13	
特別損失	96		76		20	
税金等調整前当期純利益(▲損失)	▲21	▲0.4%	14	0.3%	▲36	
法人税等	47		43		4	
法人税等調整額	▲3		▲52		49	
少数株主損益調整前当期純利益(▲損失)	▲66		23		▲90	
少数株主利益(▲損失)	▲18		3		▲22	
当期純利益(▲損失)	▲47	▲0.8%	20	0.4%	▲67	

- 為替換算による売上高への影響額(試算) +203億円
- 新規連結会社による影響額 売上高 +295億円
(ハチカン、金子産業、LEUCHTTURM)
- 特別損失 96億円
うち、事業整理損83億円(ブラジルNETUNO社事業からの撤退)

■ NETUNO社概要

- 所在地 :ブラジル国レシフェ市
- 営業種目:ティラピア・えび養殖、水産品(ロブスター他)の輸出。

■ 事業撤退に至った経緯

- ティラピア事業に一定の改善は見られるものの、事業の拡大と根本的な事業構造改革には多大な経営資源の追加投入が見込まれる。
- ティラピアの販売が国内市場中心であり、グループシナジーの追求は容易でない。

■事業撤退に至った経緯

- ロブスターは漁獲が不安定であり、買付が安定しない。
- えび養殖は、魚病の発生・輸入禁止措置解除のリスクなどにより自社養殖からは既に撤退済みである。
- 経営改善を進めてきた新社長の交通事故死。

当社の厳しい経営状況からリスクも大きく、また 収益化に時間を要する本事業から早期に撤退すべきと判断しました。

■事業整理損の内訳

項 目	(単位:億円)
固定資産等の減損	45
撤退費用等	19
不良債権に対する貸倒引当金の計上	11
棚卸資産の減損等	7
事業整理損 計	83
少数株主損益への振替	▲15
当期利益への影響額(損失)	68

(単位:億円)

流動資産 2,015 (+74)	流動負債 2,023 (+61)
	固定負債 1,559 (+152)
固定資産 2,200 (+133)	純資産 632 (▲6)
総資産 4,216 (+207)	うち自己資本 497 (+38) 自己資本比率 11.8%

()内の数字は前期末比増減

主な増減要因

流動資産	+74	受取手形及び売掛金	+30
		商品及び製品	▲54
		仕掛品	+26
		原材料及び貯蔵品	+53
固定資産	+133	有形固定資産	+32
		無形固定資産	+3
		投資その他の資産	+97
流動負債	+61	短期借入金	+100
		その他	▲53
固定負債	+152	長期借入金	+121
		退職給付引当金	+35
純資産	▲6	利益剰余金	▲67
		その他の包括利益累計額	+105
		少数株主持分	▲44

※新規連結会社(金子産業、LEUCHTTURM等)による
総資産増加の影響額 141億円

※自己資本比率 '12/3 11.5% → '13/3 11.8%

2013年3月期

連結キャッシュ・フロー計算書(前年比)



(単位:億円)

	13/3	12/3	増減	内訳	13/3	12/3	増減
営業活動によるCF	151	238	▲86	税金等調整前当期純利益	▲21	14	▲36
				減価償却費	168	167	0
				事業整理損失	83	41	42
				運転資本の増減額	7	▲29	37
				その他	▲52	62	▲115
投資活動によるCF	▲213	▲167	▲45	有形固定資産の取得による支出	▲192	▲122	▲70
				有形固定資産の売却による収入	29	1	27
				無形固定資産の取得による支出	▲12	▲32	20
				投資有価証券の売却による収入	22	1	20
				子会社株式の取得による支出	▲44	—	▲44
				連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得支出	▲15	▲2	▲12
				短期貸付金の増減額	▲18	▲6	▲12
財務活動によるCF	84	▲90	174	短期借入金の増減額	25	▲79	105
				長期借入金の増減額	84	30	53
				配当金の支払額	▲13	▲27	13
現金等の期末残高	181	149	31				

※営業活動によるCFの「その他」には前渡金の増加額、前受金の減少額等が含まれる。

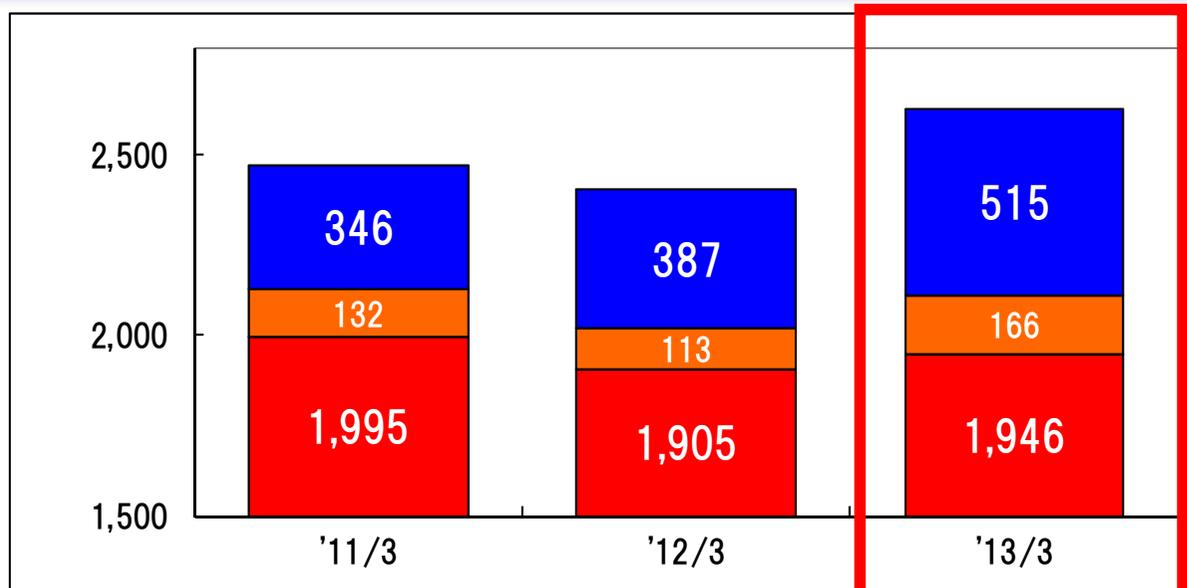
2013年3月期

連結借入金・純金利負担



(単位:億円)

- 海外関係会社
- 国内関係会社
- ニッサイ個別



前期末比増減

+128 LEUCHTTURM+42
為替+52

+53 金子産業+51

+41

借入金合計	2,473	2,405	2,626	+221
短期借入金	1,285	1,207	1,307	+100
長期借入金	1,187	1,197	1,319	+121
短期借入金平均利率	1.1%	1.2%	0.9%	▲0.3%
長期借入金平均利率	1.7%	1.6%	1.4%	▲0.2%
純金利負担	19.9	18.3	18.1	
対営業利益純金利負担率	25%	19%	31%	
支払利息	35.9	37.3	37.6	
受取利息	5.6	8.1	9.3	
受取配当金	10.3	10.8	10.1	

2013年3月期

セグメントマトリックス売上高(前年比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	1,895 (70)	352 (71)	296 (▲14)	150 (▲0)	374 (▲0)	3,069 (126)	▲739 (▲35)	2,329 (91)
	1,825	281	310	150	374	2,942	▲704	2,238
食品事業	3,030 (161)	456 (55)		68 (9)	156 (59)	3,710 (285)	▲1,030 (▲196)	2,680 (89)
	2,868	401		58	96	3,424	▲834	2,590
ファイン事業	291 (15)			2 (0)		293 (15)	▲18 (▲0)	275 (15)
	275			2		278	▲18	259
物流事業	215 (16)					215 (16)	▲81 (▲7)	133 (9)
	198					198	▲74	124
その他事業	329 (89)			1 (0)		330 (89)	▲81 (▲6)	249 (82)
	240			1		241	▲74	167
仮計	5,761 (352)	809 (126)	296 (▲14)	222 (9)	530 (59)	7,619 (533)		
	5,409	682	310	212	471	7,085		
連結調整	▲1,436 (▲189)	▲189 (▲48)	▲176 (10)	▲126 (▲11)	▲22 (▲6)		▲1,951 (▲245)	
	▲1,246	▲141	▲186	▲115	▲15		▲1,705	
連結計	4,325 (162)	619 (78)	119 (▲4)	95 (▲1)	508 (52)			5,668 (288)
	4,162	540	123	97	455			5,380

※上段は2013年3月期実績、下段は2012年3月期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

※新規連結会社による影響額 合計 +295億円(ハチカン141億円、金子産業129億円、LEUCHTTURM24億円)

※為替換算による売上高への影響額(試算) 203億円

2013年3月期

セグメントマトリックス営業利益(前年比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計
水産事業	11 (▲8)	7 (5)	▲37 (▲50)	▲2 (5)	3 (▲2)		▲17 (▲50)	▲7 (5)	▲25 (▲45)
	20	1	13	▲7	6		33	▲12	20
食品事業	14 (▲14)	8 (▲1)		0 (3)	▲3 (▲9)		19 (▲21)	▲0 (5)	19 (▲15)
	28	9		▲3	5		40	▲5	34
ファイン事業	72 (9)			0 (0)			73 (9)	0 (0)	73 (9)
	63			0			63	0	63
物流事業	17 (1)						17 (1)	1 (▲0)	18 (1)
	15						15	1	17
その他事業	12 (5)			0 (▲0)			12 (5)	▲0 (▲1)	11 (4)
	6			0			6	0	7
全社経費						▲39 (7)	▲39 (7)	0 (1)	▲38 (8)
						▲46	▲46	▲1	▲47
仮計	128 (▲5)	15 (4)	▲37 (▲50)	▲2 (8)	▲0 (▲12)	▲39 (7)	64 (▲48)		
	133	11	13	▲10	11	▲46	112		
連結調整	▲6 (▲2)	0 (6)	5 (7)	▲0 (0)	▲5 (▲1)	0 (▲0)		▲6 (10)	
	▲4	▲5	▲1	▲1	▲4	0		▲17	
連結計	121 (▲7)	16 (10)	▲32 (▲43)	▲2 (9)	▲6 (▲13)	▲39 (6)			58 (▲37)
	129	5	11	▲12	7	▲46			95

※上段は2013年3月期実績、下段は2012年3月期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

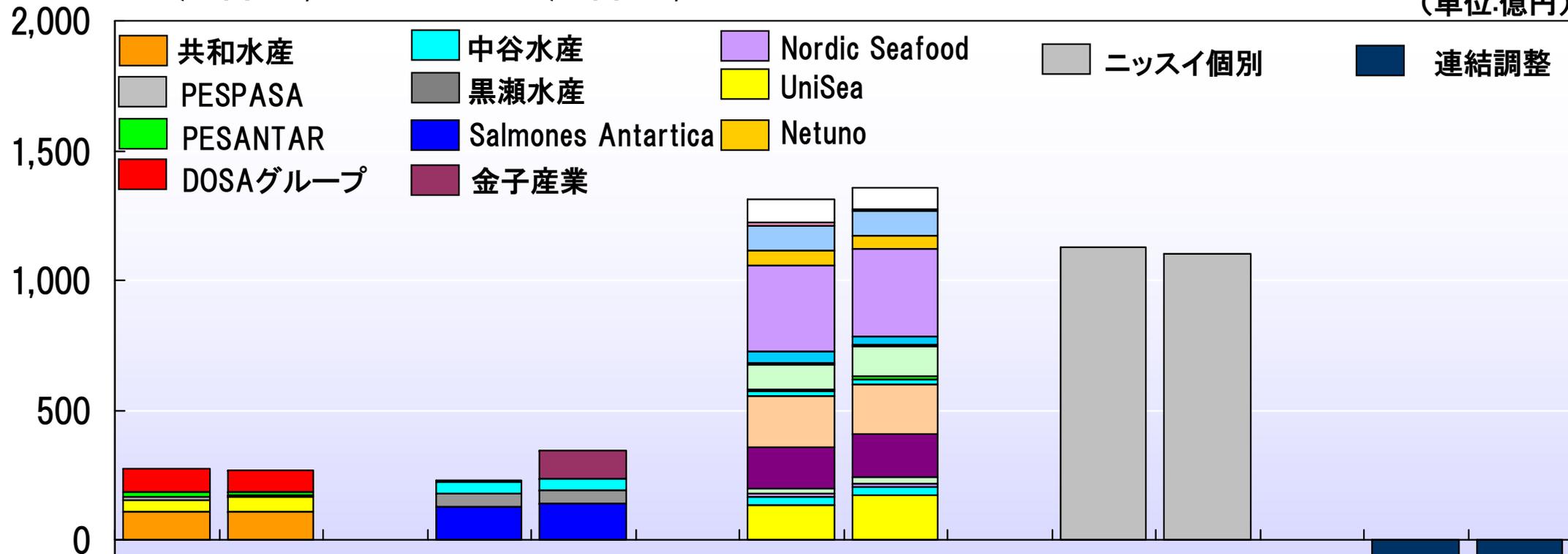
※2012年3月期の数値は、過年度遡及会計基準に基づき新しい配賦基準により組替えているため、前年での開示とは異なっている。



'12/3計 2,238

'13/3計 2,329

(単位:億円)



※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別合計数値。





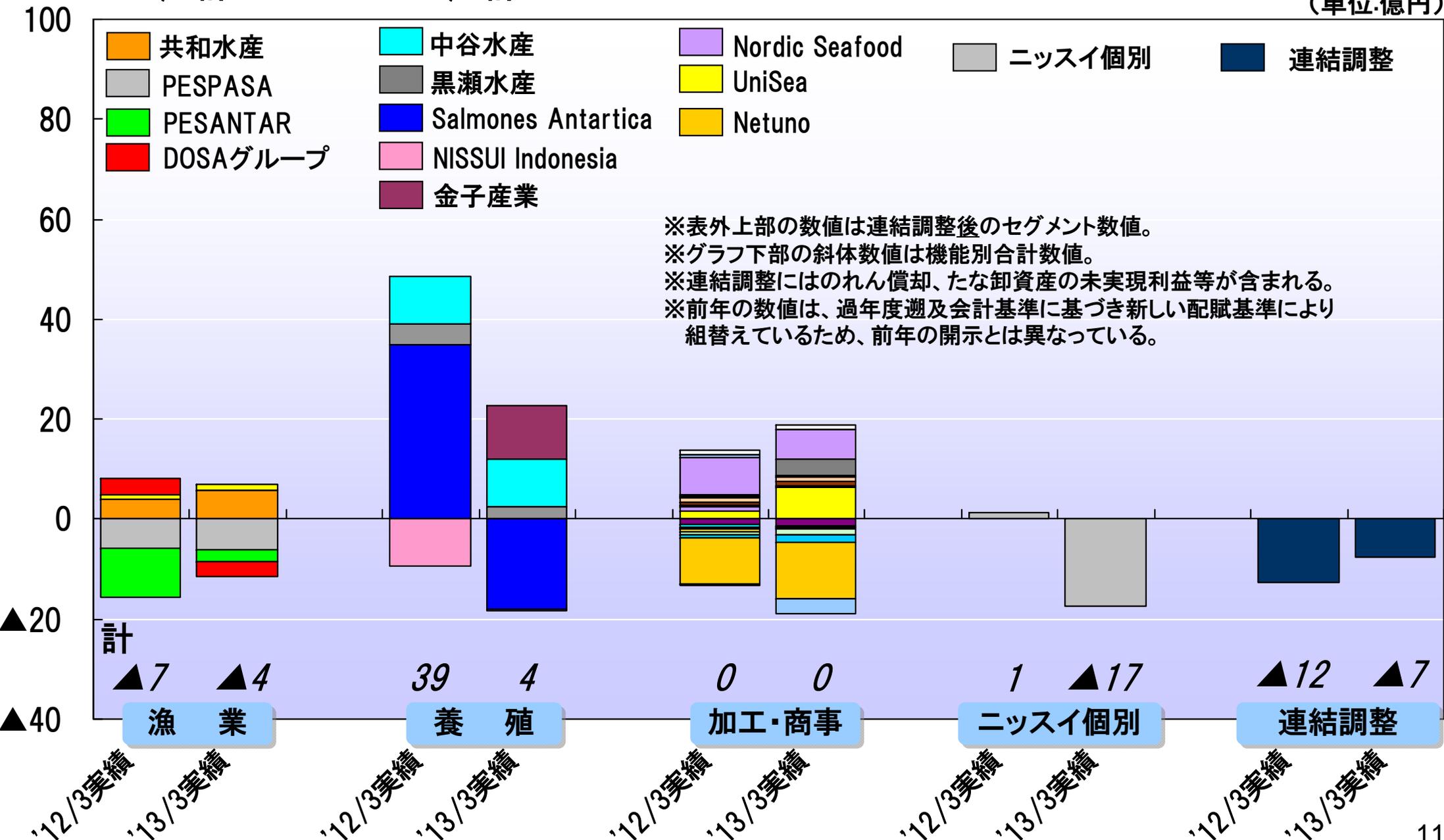
'12/3計 20

'13/3計 ▲25

(単位:億円)

- 共和水産
- 中谷水産
- Nordic Seafood
- NISSUI個別
- 連結調整
- PESPASA
- 黒瀬水産
- UniSea
- PESANTAR
- Salmenes Antartica
- Netuno
- DOSAグループ
- NISSUI Indonesia
- 金子産業

※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別合計数値。
 ※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。
 ※前年の数値は、過年度遡及会計基準に基づき新しい配賦基準により組替えているため、前年の開示とは異なっている。

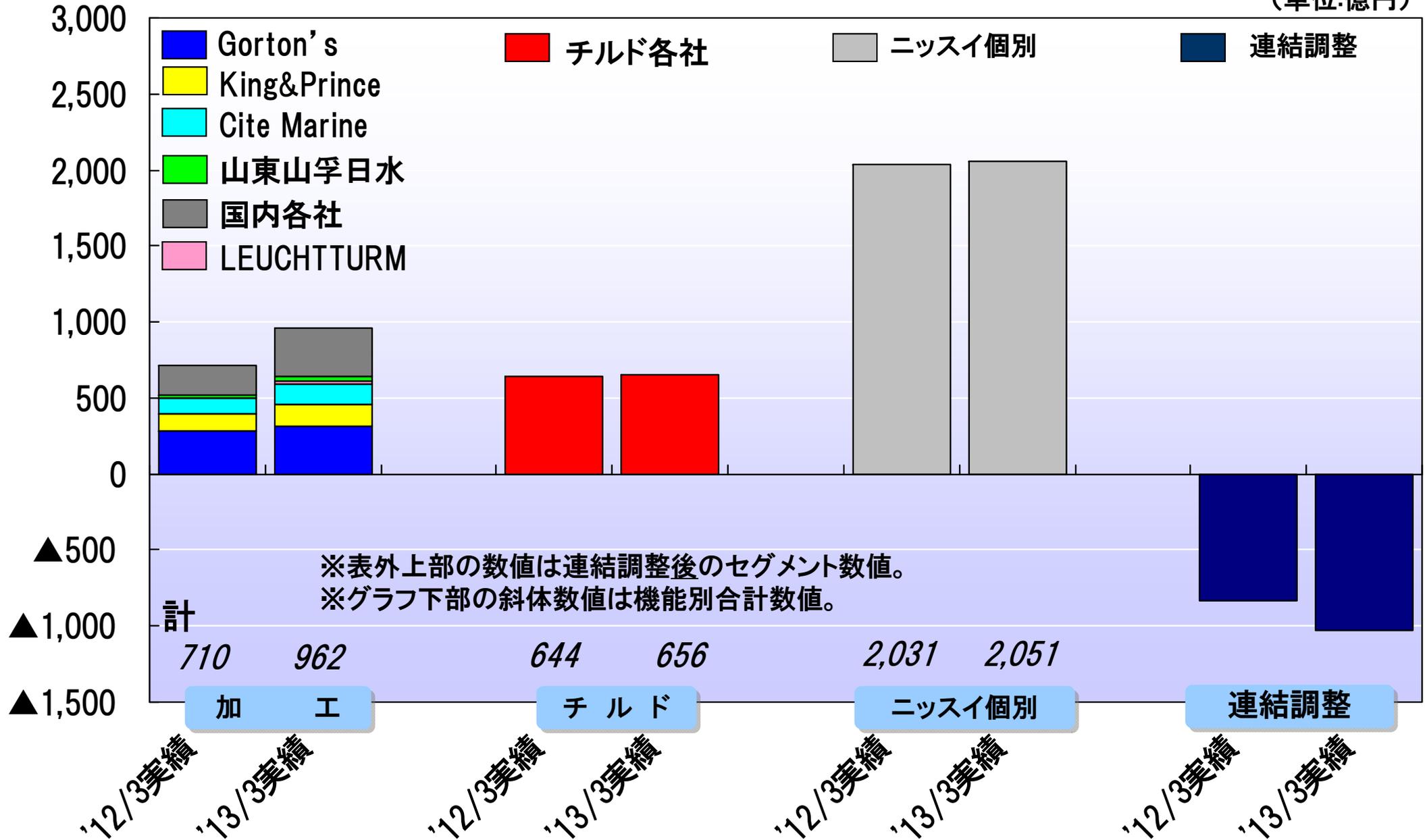




'12/3計 2,590

'13/3計 2,680

(単位:億円)

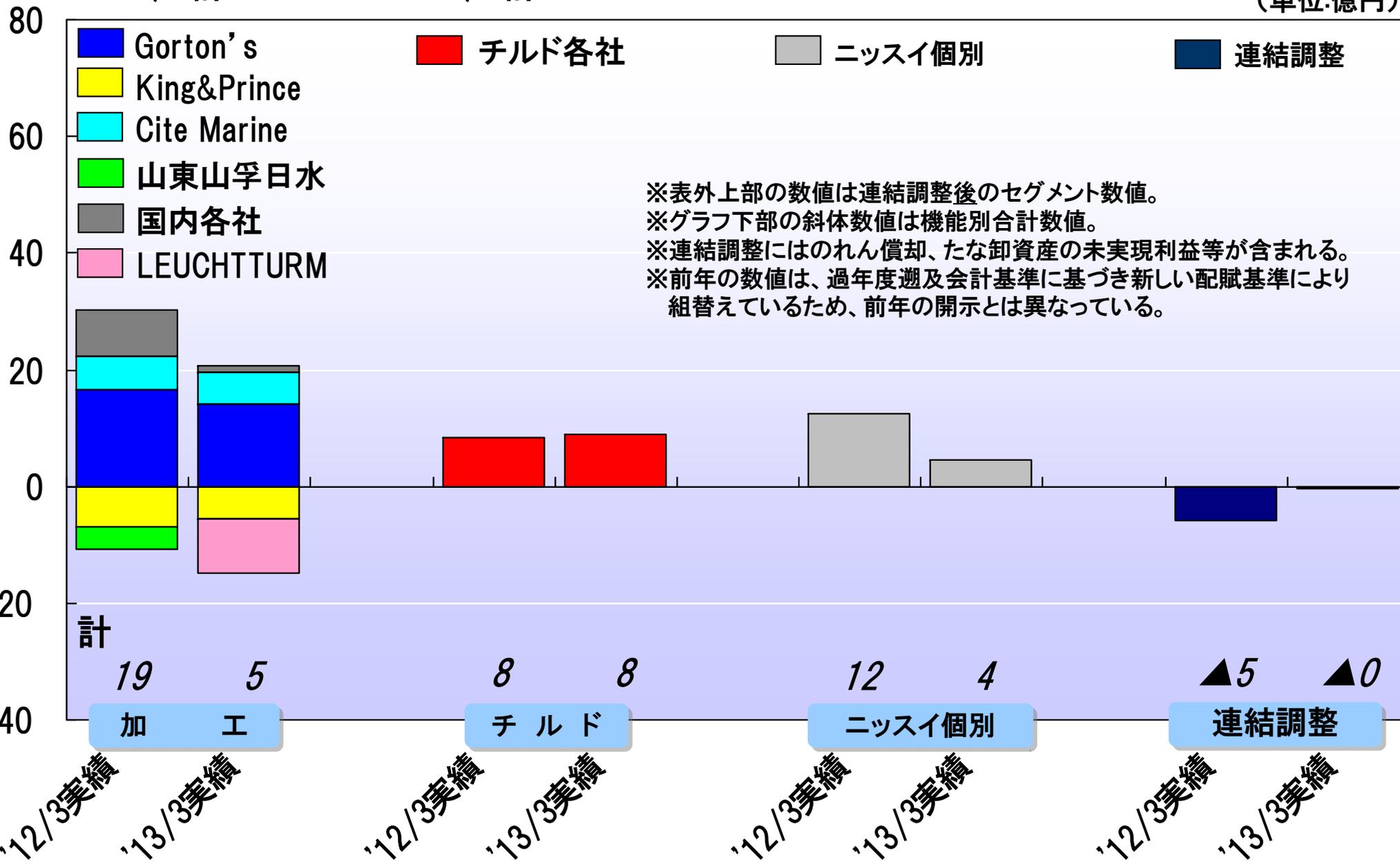




'12/3計 34

'13/3計 19

(単位:億円)



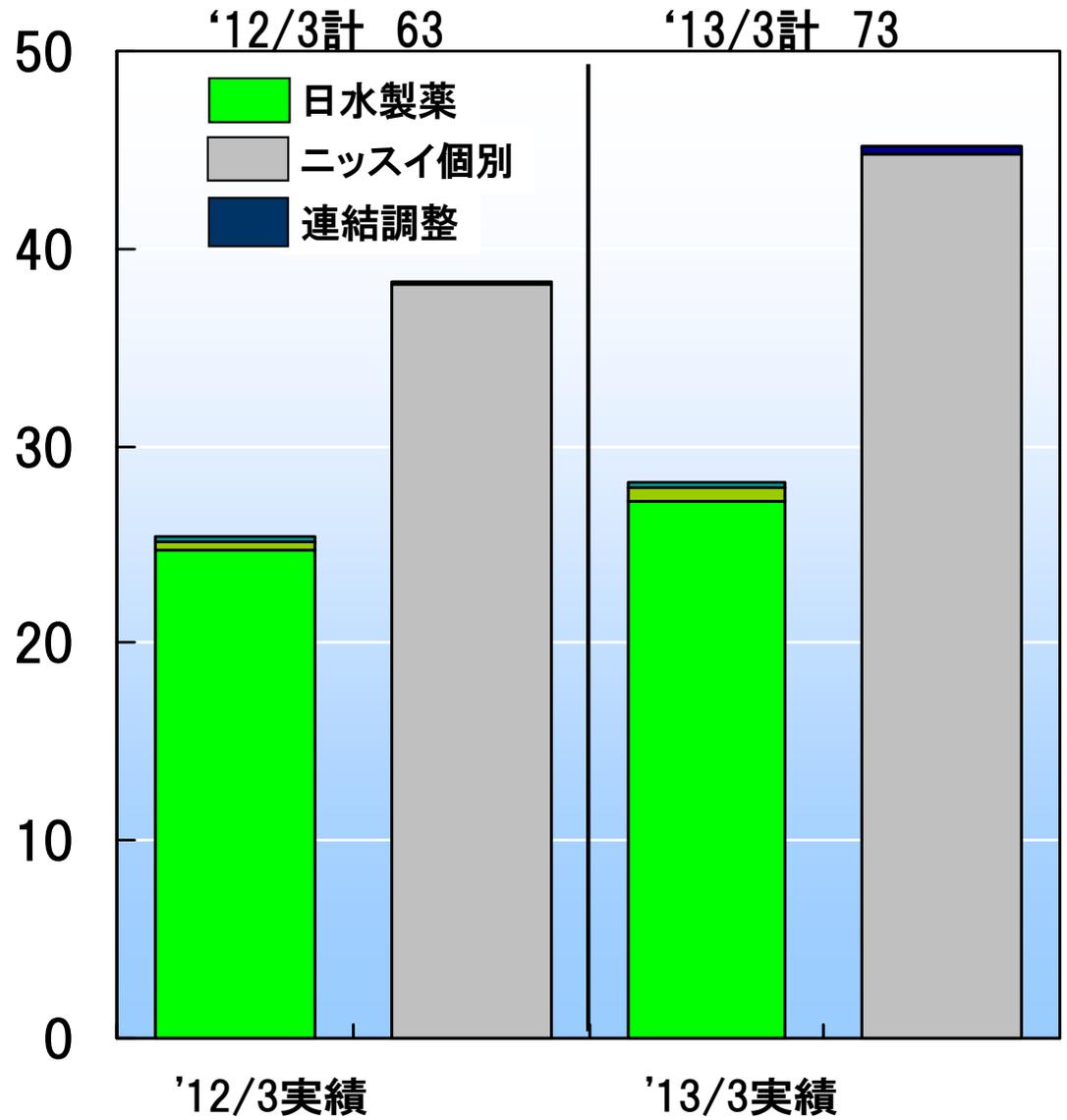
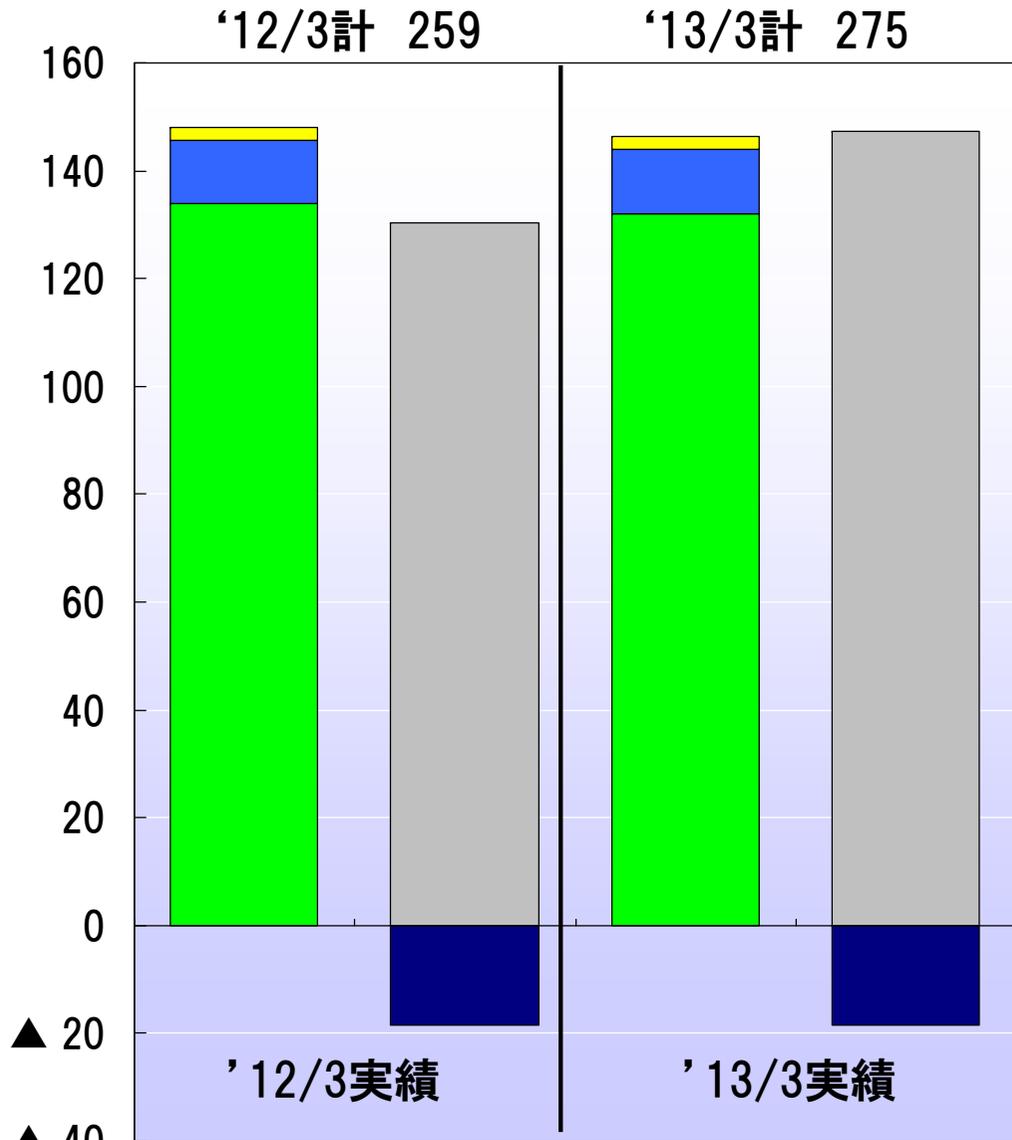


売上高

(単位:億円)

営業利益

(単位:億円)

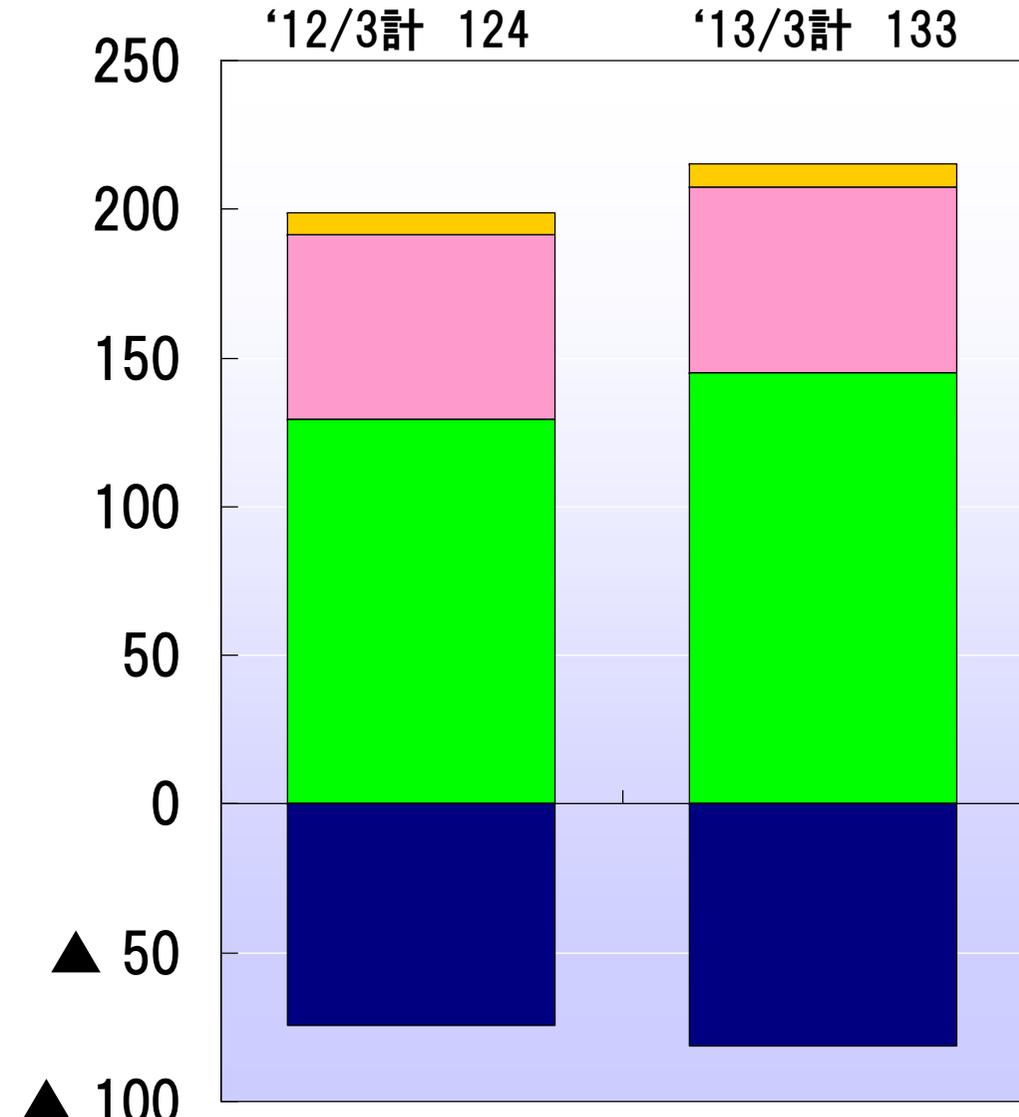


- 日水製薬計
- TN Fine Chemical
- 連結調整
- 北海道ファインケミカル
- ニッセイ個別 ファイン計

※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。
 ※連結調整には、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。
 ※前年の数値は、過年度遡及会計基準に基づき新しい配賦基準により組替えているため、前年の開示とは異なっている。



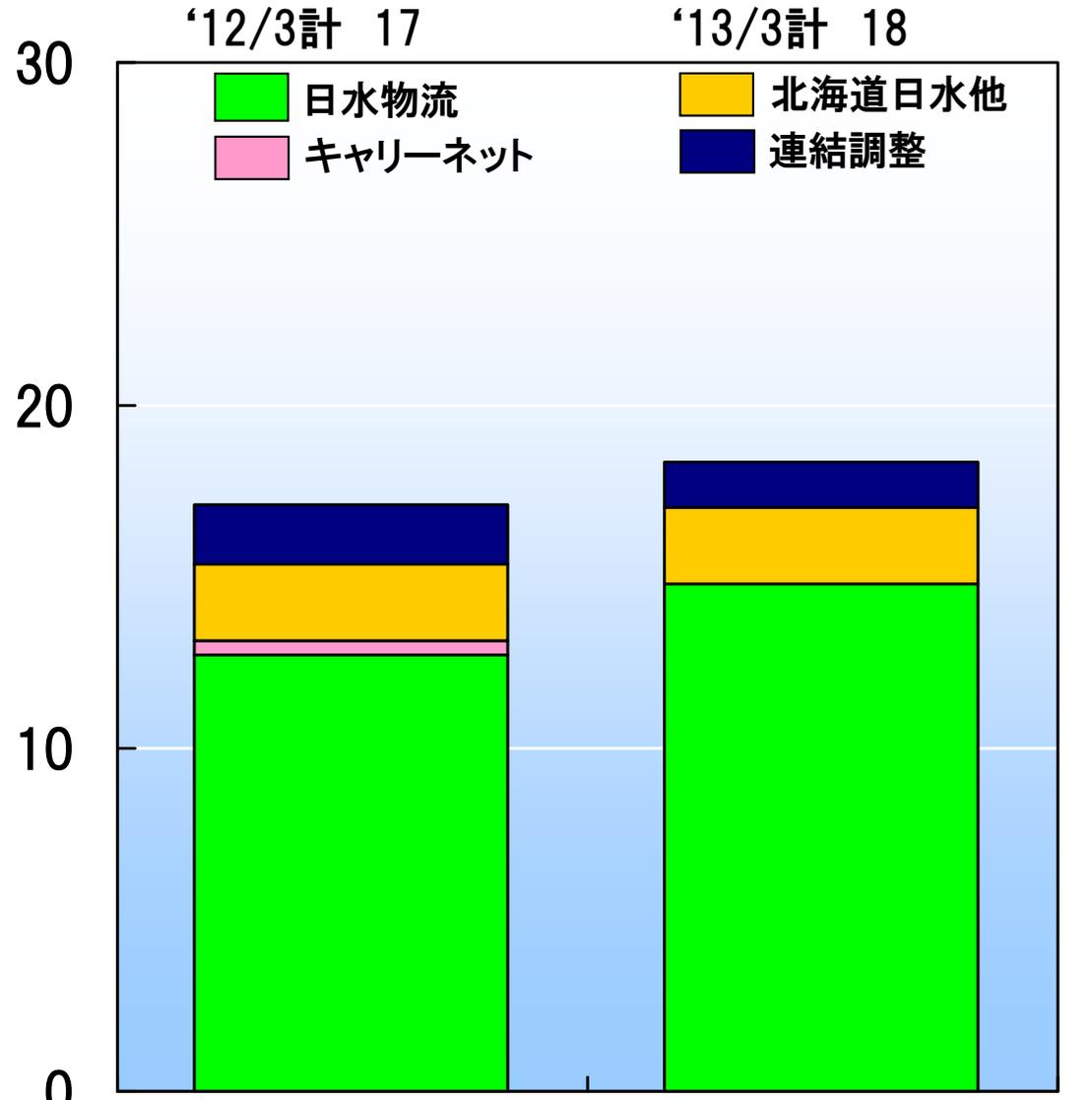
売上高 (単位:億円)



'12/3実績 '13/3実績

- 日水物流
- キャリーネット
- 北海道日水、他
- 連結調整

営業利益 (単位:億円)



'12/3実績 '13/3実績

※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。
 ※連結調整には、固定資産の未実現利益等が含まれる。

2013年3月期
個別損益計算書(前年比)



(単位:億円)

	2013年3月期 実績	売上高比	2012年3月期 実績	売上高比	増減	増減率
売上高	3,298		3,300		▲2	▲0.1%
売上総利益	661	20.1%	681	20.7%	▲19	▲2.9%
販売費・一般管理費	669		676		▲6	
営業利益(▲損失)	▲7	▲0.2%	5	0.2%	▲13	
営業外収益	68		47		21	
営業外費用	54		42		12	
経常利益	6	0.2%	10	0.3%	▲4	▲43.0%
特別利益	13		4		9	
特別損失	17		128		▲110	
税引前当期純利益(▲損失)	2	0.1%	▲113	▲3.4%	115	
法人税等	1		3		▲1	
法人税等調整額	▲2		▲59		56	
当期純利益(▲損失)	3	0.1%	▲56	▲1.7%	60	

■ 水産

- 上期は鮭鱒を初めとする冷凍水産物全般の価格下落・粗利の低下、ミール取引での損失
- 下期は相場が底を打ち、在庫削減を進めた結果、在庫回転率が改善

■ 食品

- 冷凍食品：原材料の価格上昇や販売競争激化に伴う販売経費増加
- 魚肉ソーセージ：マーケットシェアは維持するもカテゴリーの弱体化

■ ファインケミカル

- 薬価改定の影響を販売数量増で補完
- イマーク・イマークSの販売好調